

天龍峡遊歩道 のんびり散策MAP

花、木、野鳥、澄んだ空気...

天龍峡の自然を満喫してください。



天龍峡IC

記号の説明

- P 駐車場
- トイレ
- 温泉・宿泊
- 幸運・御礼スタンプ台
- 地景・撮影ポイント
- 足下・路上注意
- 石碑
- 案内看板
- 所要時間基準点

ポットホールって何？

ポットホールとは、使い古された岩が水に浸食されてできた岩のくぼみです。天龍峡周辺でも数カ所見られますが、その昔、その場所を天龍川が流れていたことを示しています。

一周するのに大人で約1時間程度のコースです。また、地元のガイドによる説明もあります。その場合は、約1時間30分ほどで一周します。ガイドについては観光案内所へお問い合わせください。

表記の所要時間は、大人が歩いた場合の目安です。

天龍峡十勝って何？

明治15年(1882)、書聖と仰がれた書道家の日下部鳴鶴(くさかべめいかく)が天龍峡を訪れ、十の岩峰を選び、岩面に自筆の文字を刻んだのが始まりです。

垂竿磯【すいかんぎ】(さぶり) 仙人が、呑むした岩に腰をおろし、好んで釣り糸をたれたとされている。鳥帽子【うぼうせき】(えぼし) 仙人がこの幽峡で酒宴をし、酔って鳥帽子を忘れたところから出現した岩である。

歸鷹崖【きようがい】(鷹待岩) 鷹の帰ってくる崖、仙郷に住む仙人が鷹狩りをした際の岩であるとされている。

姑射橋【こやきょう】(太田橋) 中国古代の「莊子」に記されている不老不死の神仙郷鶴姑射山にちなんで命名された。

煙々潭【けいけいたん】(てらが淵) この崖下には巨龍が棲み、水底より煙々と光る龍の眼光が見られたところ。

浴鶴巖【よくかくがん】(つるしね) 水面で鶴の群が、その扇模様を美しく水浴させていたところから命名された。

仙林磐【せんじょうばん】(千量敷) 仙人たちが、不老不死の金丹を煮た場所と伝えられる千量敷の岩である。

樵庵洞【しょうぶどう】(ひさし岩) ひさし状に岩が突き出て、仙人や樵人が雨露をしのいだとされる洞状の岩である。

龍角峯【りゅうかくほう】(花立岩) 天龍川の深淵に棲む龍が、ある時、天に昇った時、その崖に突然できた「龍の化身」と伝えられている。

芙蓉峯【ふようとう】(富士の巻狩) 岩面に白い縞模様があり、富士山と富士の巻狩りが偲ばれたところから命名。

まずは橋の上に立って、おいしい空気を吸ってから、眼下に見える渓谷を眺め、これから楽しむ遊歩道をチェック!

ここからスタート!

ここからゴール!

名勝天龍峡温泉

南信州/飯田

飯田・岡谷方面